

女性医師支援のあゆみ

History of  
female doctor support

# 第8章

## 参考資料



# 北海道医師会 女性医師等支援相談窓口 広報ツール

女性医師等支援相談窓口は、ホームページで各種事業を紹介しているが、育児支援、復職支援を求めている世代の多くは医師会に未加入であるため、広く事業を知っていただくよう広報ツールを作成して、学会、研修会で配布した。

## (1) ホームページ



© (2012年)



© (2014年)

## (2) チラシ・ポスター



©A4チラシ (2012年)



©A2・A3ポスター (2014年)



©A4チラシ (2016年)



©A4チラシ (2018年)

(3) 広告 = 北海道医報掲載 =



◎全ページ (2013年)



◎1/2ページ (2013年)

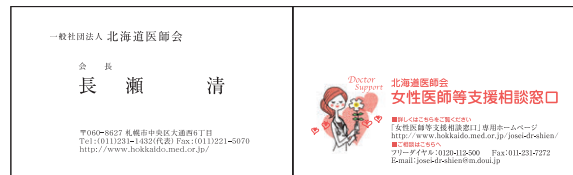


◎1/4ページ (2013年)

(4) 名刺



◎役員・事務局用 (2012年)



◎役員・事務局用 (2016年)



◎コーディネーター用 (2012年)



◎コーディネーター用 (2016年)

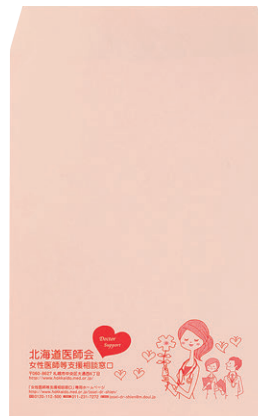
(5) 封筒



◎長3窓付き封筒 (2018年)



◎長3封筒 (2016年)



◎角2封筒 (2012年)



## (6) ノベルティグッズ



◎グッズセット／ポケットティッシュ、メガネふき、メモ帳、付箋、ボールペン、パズル付き定規 (2012年)



◎クリアファイル (左から2012年、2013年、2018年)





◎トートバッグ (左から2014年、2015年、2017年)



◎シャープペン&ポケットティッシュ (左・2014年)

◎筆記具セット&ペンケース (中央・2015年)

◎ボールペン&付箋 (右・2018年)



◎ハンドタオル&馬油(2016年)



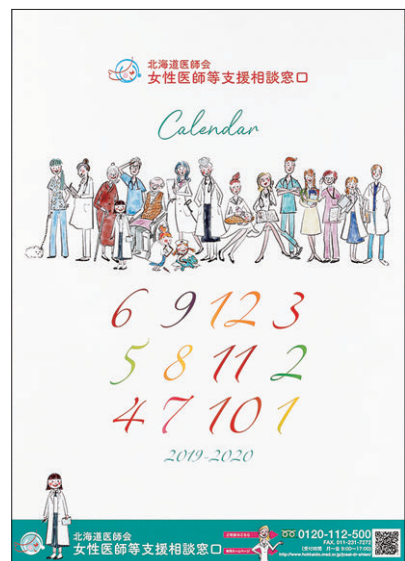
◎USB & 専用ケース(2018年)



◎紫外線チェックミラー(20??年)



◎卓上カレンダー(左から2017年、2018年、2019年)



◎壁掛けカレンダー(左から2017年、2018年、2019年)

## 女性医師等支援相談窓口は 医師キャリアサポート相談窓口へ

全医師を対象に、さまざまなライフステージに応じた  
キャリア形成を支援します。

生涯現役を目指す医師のセカンドキャリアサポートが  
新たな事業に加わり、名称変更に伴い、  
専用ホームページも全面リニューアルしました。

北海道医師会

# 医師キャリアサポート 相談窓口



ドクターの人生に寄り添い、希望にかなう働き方を全力応援！

医師への復職  
キャリア継続をめざす方へ



就業・復職  
サポート

定年退職後も  
生涯現役でいたい方へ



セカンドキャリア  
サポート

医師と子育ての  
両立をめざす方へ



育児  
サポート

家族の介護に  
支援を求める方へ



介護  
サポート

ご相談はこちら

**0120-112-500**

(受付時間: 月～金 9:00～17:00)

FAX: 011-231-7272    mail: josei-dr-shien@m.douj.jp

◎詳しくは専用ホームページをご覧ください

<http://www.hokkaido.med.or.jp/josei-dr-shien/>

北海道医師会 医師キャリアサポート相談窓口

札幌市中央区大通西6丁目 北海道医師会





## 編集後記

女性が医師になることが珍しい時代に、たくましくされどしなやかに乗り越えて来られた先人たちの素晴らしさはここで述べるまでもありません。先人たちの頑張りにより、女性医師が勤務を継続するための環境の整備、制度の充実、施策の実践などに繋がりました。

しかしながら、女性医師が結婚や出産・育児などのライフイベントのためにキャリアの中断を余儀なくされることはしばしばあり、医師としてのキャリアを継続する支援は必要で、ほんの少しの支援があれば医師としてその使命と責任を継続して果たすことができるのです。

北海道医師会女性医師等支援相談窓口がスタートした2011年頃には、「医師の更衣室に女性用はありません」「配偶者次第だと思うけど、できれば私も仕事を続けたい」「院内保育所は看護師のために用意したものです」との声が聞こえ、まだまだ女性が男性と同等に働いているとはほど遠いのが現状でした。2015年に開催された第11回男女共同参画フォーラム（徳島県）では、10年目の女性医師がフロアから「主人は同級生で、学生の時は私の方がよほど賢かったのに、今は主人ばかりがキャリアを積んでいるのがすごく腹が立つ」と発言されたことは印象的でした。

その後、キャリアが遅れるからと産休明けすぐに復職される方や、妻も働いているのでとパパドクターの育児登録など日々相談窓口に来られる相談者の意識も変わり、相談件数も2017年をピークに減少傾向となりました。たった数年の間に大きく変わった背景には、社会の働き方改革の動きや多様な働き方のニーズに対応した就業、男女共同参画の意識があるのでしょう。また、北海道は、病院勤務医の4割が50代以上であり、今後10年で多くのベテラン勤

務医が定年退職をすることが見込まれています。定年退職後の医師に新たな活躍の場を紹介することも、医師の偏在解消の一つの施策になり得ると考えます。これからも、女性医師支援が必要な場面は多くあるでしょうが、北海道医師会では、女性医師に限定せず、男女共同参画の観点からも医師全体の支援活動にシフトすることとなりました。

ここで、今まで女性医師支援事業にご協力いただいた先生方とこれまでを振り返り、一つの記録として残すことにいたしました。医療の現場に女性医師の視点を反映させるべきと考えた2006年当時の宮本慎一副会長はじめ北海道医師会執行部の諸先生のお力で、北海道医師会に女性常任理事が誕生しました。以後、北海道医師会は積極的に女性医師支援の活動を続けてまいりましたが、15年が経過する今回、宮本慎一先生から北海道医師会の女性医師支援のあゆみをまとめるようにと仰っていただき、発刊の運びとなりました。作成に当たって種々ご助言いただきました宮本先生には改めて感謝の意をお伝えいたします。本当にありがとうございました。

女性医師が働き続けるために必要なちょっとした後押しと、過去の経験からあれば良かったと思う支援の方策を探りながら、相談窓口事業はこれからも継続していきます。そして、新たに全ての医師からのキャリア相談、医師が働きやすい環境の整備、定年退職後の医師の雇用継続などについて対応していきます。

これまで、ご尽力いただきました先生方に感謝の意をお伝えするとともに、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

北海道医師会 女性医師等支援相談窓口  
事務局 小林 淳子

## 女性医師支援のあゆみ

発行 一般社団法人 北海道医師会

〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目 ☎011(231)1432 [代表]

<http://www.hokkaido.med.or.jp/>

印刷 山藤三陽印刷株式会社

発行日 2020年5月31日